

熱中症被害つづくー 避難所の設置や対策を要望

党市議団が緊急申し入れ

連日の猛暑のため、大津市でも熱中症の疑いで緊急搬送される方が増加しています。クーラ

ーが購入できなかったり、また設置できても電気代がかさむために、日中はスパーなどで過ごす高齢者の方も多くおられます。

党市議団は、さらなる対策の強化を求めて、8月24日大津市長に緊急申し入れを行いました。緊急避難場所の確保や相談窓口の設置、在宅

高齢者の状況の把握や支援、低所得者に対するクーラー設置の補助や電気代の減免制度など具体的な支援措置を行うことを要望。

大津市からは、国の制度に関わる部分などについては市としては難しいが、できることは早急に対応すると返答があり、さつそく、市民センター等のロビーの開放とそのお知らせの掲示、熱中症予防のチラシ配布など、とくに高齢者の訪問活動や啓発に努めているという回答がありました。

被害を最小限に食い止め、市民の健康と命を守るために迅速な対応が求められます。



議員団と茂呂健康保険部長(右)↑
申し入れする

8月議会 開会!

児童クラブのエアコン設置など 35議案を審議します

8月31日から大津市議会定例会がはじまり、約7億4千万円の一般会計など6補正予算や、昨年度決算の認定を求める18議案、条例改正などの11一般議案が提案されました。

補正予算では、議員報酬の5%カットによる減額(約1450万円)や、保育園や児童クラブへのAED(自動体外除細動機)の設置、児童クラブ10カ所へのエアコン設置、曳山展示館の

映像システム改修、比叡平での幼保一体化施設整備実施設計費用など、子育て支援や市街地活性化などが盛り込まれています。

一般議案では、行政手続きへの電子申請などの規定整備、母子生活支援施設の運営を民間福祉法人に委託するための指定管理制度の導入、旧雄琴小学校跡地に足湯などの観光拠点施設を整備するための条例などが提案されています。

8月議会では開会冒頭、議員定数

《8月議会日程》

- 8月31日(火) 開会
- 9月7日(火)～9日(木) 質疑・一般質問
- 9月13日(月) 常任委員会
- 9月15日(水) 特別委員会
- 9月17日(金) 閉会(議案採決)

どなたでも傍聴できます。
ぜひ市議会にお越しください

検討特別委員会が設置され、市長の意向を受けて議員定数削減を主張する会派もありますが、日本共産党市議団は議会の活動を強化すべき時に、少数意見が反映しにくくなる定数削減には反対の立場で論戦を行います。
本会議の傍聴にお越しただくとともに、インターネットの中継も行われますので、ぜひご覧ください。

生活保護問題議員 研修会に参加

石黒かづ子、佐々木しょういち市議

昨年12月に生活保護世帯が130万を突破しました。私たち市議団に寄せられる生活相談も、その多くが生活保護に関わるものです。

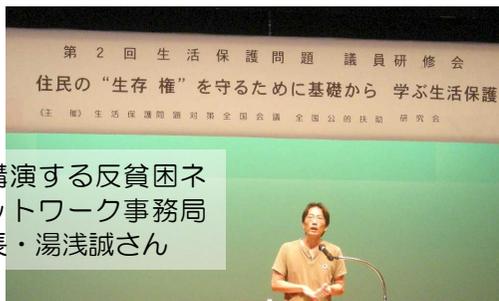
8月20、21日に生活保護問題議員研修会が開催され、石黒市議と共に参加しました。反貧困ネットワークの湯浅誠さんなどの講演、全国から集まった

200人を超える地方議員の方たちとの交流は、有意義で元気づけられるものでした。

学んだことのひとつは、制度を良く知れば保護を必要としている人たちにもっと役立てるといことです。今でも「水際作戦」といって保護の申請そのものを受け付けられないことがおこなわれています。これを突破する力になりたい。

もうひとつは解雇や病気で収入がなくなると、すぐに生活保護が必要になる日本の社会保障制度の貧しさや戦うことの大切さです。あきらめず、まず相談をしてく

ださい。道は必ず開けます。
(佐々木しょういち)



講演する反貧困ネットワーク事務局
長・湯浅誠さん

「貧困」とたたかう決意新たに